



ボランティア便り

川崎田園都市病院 ボランティア活動機関紙

vol.215 2024/11/16

お問合せはこちらへ

医療法人 若葉会 川崎田園都市病院

〒215-0023 川崎市麻生区片平1782

Tel: 044-988-1118 Fax: 044-988-0009

URL: <http://kawadenhp.com> E-mail: volunteer@kawadenhp.com

担当: レクリエーションワーカー 山口・町田

活動報告

★当院においてくださっているボランティアの皆様の活動や患者様のご様子を紹介します★

敬老のお祝いコンサート

2024年9月28日(土)14:00~14:30

御出演:麻生総合高校合唱部、Celebration

爽やかな秋風が吹くこの日、当院に御入院されている患者様の敬老をお祝いし、4年振りに当院1階ロビーにてコンサートを開催いたしました。本来でしたら多くの方をお招きしたいのですが、感染防止対策のため、今回は今年100歳以上、99歳(白寿)、そして90歳(卒寿)になられました患者様を対象にお楽しみいただくこととなりました。



御出演は、当院にて開校当初からお歌いくださっている“麻生総合高校合唱部”の皆様と、その卒業生を中心とした合唱団“CelebratioN(セレブレーション)”の皆様です。麻生総合高校合唱部の皆様は、コロナウイルス感染防止対策のため御来院を伴うボランティア活動を休止しておりました間も、毎年録画撮影にて患者様方へ歌声を届けてくださっていました。鑑賞会を行う度、患者様方からは「とっても綺麗なハーモニーね。でもきっと、実際の歌声はもっと素敵でしょうね。」とお言葉もいただいております。この日、長く心待ちにしていた生演奏を、皆様にお聴きいただくことができました。

『里の秋』の演奏では、透明感のある美しい歌声に思わず口ずさむ患者様もいらっしや、一緒に御鑑賞されていたご家族様もそのご様子に嬉しそうに涙を浮かべられていました。『ふるさとの四季』はお耳馴染みの唱歌がメドレーになっており、美しい旋律のピアノ伴奏も相まって、音楽に合わせて心地良さそうに身体を揺らしたり、指揮者のように指を動かしたりする方もいらっしやいました。



『埴生の宿』では、目を閉じながらも一緒に歌いになれる方や、ご家族様と手を握り合いお聞きになる方もおられ、そのご様子にスタッフも胸が熱くなりました。全てのプログラムが演奏されました後は、当院の患者様で、最年長の方(今年106歳を迎えられました！)よりご出演の代表者様へ感謝状をお渡しし、患者様方や院内スタッフから会場を満たす程の大きな拍手が沸き起こりました。感動冷めやらぬ中、アンコール曲『道化師のソネット』も演奏くださり、歌い手の皆様とご鑑賞をされる皆様が音楽を通して双方に感動を共有されていることを強く感じる、豊かなひとときとなりました。



麻生総合高校合唱部

今年度は3年生が2人。

先日も2人で演奏会を行いました。

今回の敬老のお祝いコンサートのように、

OGの力を借りながら活動中。

5月には麻生区の「があでん・ららら」さんで

演奏会も行いました。

今後も地域での演奏活動を継続する予定です。

昨年度から今年度にかけて、

神奈川県合唱コンクールで『銅賞』、

東京のコンテストで『優秀賞』、

声楽コンクールで二年連続『全国出場』を

果たしました。

CelebratioN(セレブレーション)

CelebratioNは川崎市を中心に活動する

女声合唱団です。

地域での演奏を主に活動しています。

直近ですと、5月に麻生区にある

「があでん・ららら」さんのハーブ祭りに

お招きいただき、演奏いたしました。

昨年11月には国際声楽コンクール

東京アンサンブル部門にて

『奨励賞』を受賞しています。

麻生総合高校合唱部の卒業生も

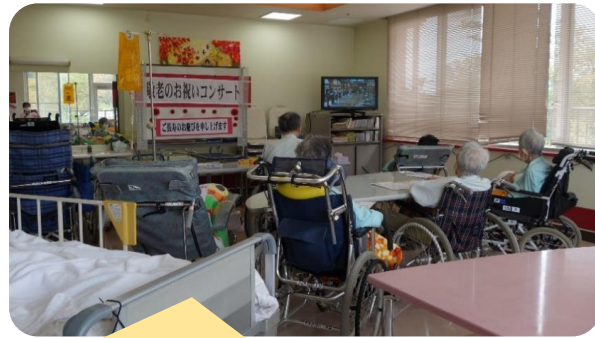
多く在籍している団ですので、

川崎田園都市病院での演奏は

団員一同楽しみにしています。

御出演者の皆様からは、『涙を流しながら一緒に歌ってくださる患者様のご様子に、私たちの歌が届いているんだと感じた。コンクールにはこのような場でよりよい演奏をするために、(研鑽の意味で)出場していきたい。』『患者様のお顔を見ながら歌うことは初めてだった。人はいつどうなるか分からない。言葉でなくても音楽の力で通じ合える部分を感じながら歌った。』等、温かな想いを歌声に乗せてくださったことをご感想としてお聞かせいただきました。過去に当院にて生演奏をされた方、この度初めて御出演くださった方も、再び当院に歌声を届けていただきましたこと、感謝の想いに溢れました。

患者様お一人お一人が貴重な人生の時間をお過ごしになる中で、私共職員がその日々に関わらせていただき、長寿節目のお祝いをお迎えになられたことを嬉しく思います。また来年に向けて準備を進めて参ります。



各病棟通常レクリエーション、個別レクリエーション内でもコンサートの歌声を録画映像にてお楽しみいただきました♪

～プログラム～

里の秋

ふるさとの四季

(故郷～春の小川～朧月夜～夏は来ぬ～紅葉～冬景色)

埴生の宿

道化師のソネット※アンコール演奏

9月7日(土)・14日(土) 患者様お誕生会



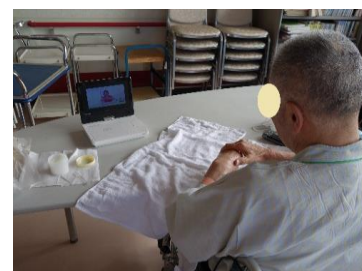
夜風と共に当院の周りでも鈴虫の鳴き声が聞こえるようになりました。9月のお誕生会は2日間に分けて病棟毎にて開催し、患者様方をお祝いいたしました。7日の2階東病棟、3階中央病棟ではどちらの会も多くのご家族様にご参加くださり、レクワーカーよりお祝いの気持ちを込めて『パッヘルベルのカノン』という曲をトーンチャイムにて演奏した際には、ご家族様にも実際に楽器に触れ音を鳴らすことに挑戦していただきました。そのご様子に「いいじゃない。」と楽しそうに応援される患者様もいらっしゃるなど、大変賑やかなひとときとなりました。14日の4階西病棟の8月・9月生まれの皆様合同の会では、男性患者様が病院スタッフからのお祝いのビデオや、院長からの祝辞に「最高だった！」とお言葉をくださいました。今年99歳になられた女性患者様も、たくさんの手拍子や会釈をしてくださり、お耳が遠くともお祝いの雰囲気をとくさん感じていただけたようでした。3階東病棟ではお部屋にてお一人ずつお祝いをお伝えし、記念の写真撮影では皆様穏やかなご表情でご対応くださいました。3階西病棟ではご出席の皆様がお祝いのデザートをお召し上がりになり、「美味しいわね。」とご家族様や病棟スタッフと笑顔を交わされるなど、とても温かな会となりました。

10月12日(土)・19日(土) 患者様お誕生会



10月に入ってもなお真夏日を観測する日もあり、今月のお誕生会を行った2日間はこちらも眩しい程の陽射しに包まれながら患者様方をお祝いすることができました。12日の4階東病棟では9月・10月生まれの皆様にご出席。院内スタッフからお祝いのパフォーマンスビデオ映像をご紹介し、その中でも事務スタッフによる『Y・M・C・A』をご鑑賞された男性患者様が笑顔で手拍子されるなど、お楽しみいただけただご様子でした。2階東病棟では、今年102歳を迎えられた女性患者様へ病棟師長からご長寿のお祝い状の贈呈を行い、他の患者様からも「おめでとうございます」とのお声上がる等、大変アットホームな雰囲気。3階東病棟では女性患者様から昨年のお誕生会の際にいただいた『川の流れるように』という曲のリクエストを、1年越しにレクワーカーがアコーディオンにて演奏をすると「覚えていてくれたんですね。」と涙を浮かべられ、御礼のお言葉を頂戴し私共も大変感激致しました。19日の3階中央病棟では、会場一杯に患者様とご家族様にご出席され、音楽のコーナーでは皆様に歌声をのせていただき大変賑やかなひとときに。3階西病棟ではレクワーカーから患者様方へ、お祝いとしてトーンチャイムという楽器にて『パッヘルベルのカノン』を演奏した際に、女性患者様も楽器を鳴らすことに挑戦くださいました。病棟スタッフがお手伝いしながらも美しい音色が響くと、会場にお集りの皆様からも拍手が沸き起こりました。

11月7日(木)・8日(金)・12日(火)・14日(木) お洒落クラブ(セルフハンドマッサージ)



冷たい風が吹き、お肌の乾燥も気になりだすこの頃。内科病棟にご入院中の患者様方に、セルフハンドマッサージをお楽しみいただきました。今回もメイクボランティアM・B・Lの宮崎優子先生にご提供いただきましたレクチャー動画のDVDを見ながら、各患者様のベッドやデイルームにて実施。マッサージの滑りをよくするため、保湿クリームも普段よりたっぷりとした量をお付けしますと、「なんだか贅沢な気分になっちゃうわね！」と、楽し気に塗り伸ばされる方もいらっしゃいました。7日3階東病棟では、女性患者様にレクワーカーがクリームを塗るお手伝いをするなど、ふふ、と笑みを浮かべながら「お姫様みたいだわ。」と嬉しそうなお表情に。8日2階東病棟の女性患者様が活動された際には「今まで忙しくて、手なんて気にしたことなかったから。」と、最初はマッサージに緊張され慣れない様子でしたが、活動終了後のしっとりした手を確かめながら「うん。しっとりしたわ。」と柔らかい眼差しで頷かれていました。12日3階西病棟では男性患者様も活動に参加され、御耳元で活動の説明をすると丁寧に「きもちいいです。」と何度も繰り返してくださいました。14日3階中央病棟でも最初は緊張からか手に力が入ってしまうようなご様子の女性患者様も、次第にリラックスされ、活動後の記念撮影では自ら「どんな恰好すればいい？」とポーズをお考えくださる等、お楽しみいただけただご様子でした。普段と少し異なる活動を通すことで、いつもより饒舌になれる方も多く、お若い頃のご経験やお仕事のお話など、沢山お聞かせいただきました私共も大変嬉しい想いに溢れるひとときとなりました。引き続きセルフハンドマッサージを患者様方にご案内して参ります。

2024年 敬老のお祝いイベント

内科病棟の記念写真撮影実施日

9月20日(金)・26日(木)・27日(金)・30日(月)



今年は100歳以上、白寿、卒寿、米寿、傘寿、そして喜寿をお迎えになられます内科病棟・精神科病棟の皆様へ、ご長寿の御祝い状の贈呈を行いました。御祝い状をご覧になりました患者様方からは「もうこんな歳になるのか！」「米寿か。あと2年頑張つて、(卒寿を)目指したいね。」「ありがとうね。」と笑顔と共に素敵なお言葉も頂戴いたしました。99歳以上の患者様方には、当院院長より直筆にてメッセージもお送りいたしました。レクワーカーが読み上げご紹介しますと、「すごいわねえ。」と、同じお部屋の患者様方からも拍手が沸き起こる場面もございました。また、内科病棟では病棟毎にお祝い状をお渡しした方に、ご長寿のお祝いの記念写真撮影も行いました。ご一緒に参加されたご家族様と手を握り合いながら応じてくださる方や、スタッフと共にピースサインをしてくださる患者様。中にはご家族様からの敬老の贈り物を抱きしめながらの御写真を希望される方もいらっしゃいました。普段は目を閉じて過ごすことの多い患者様も、スタッフからのお祝いの言葉に、大きく目を開け顔かれる方や涙を目に浮かべ微笑まれる方も。患者様方のご様子に、日頃の感謝を込めてご挨拶にお伺いしたスタッフも、心の温まるひとときとなりました。



秋空の散歩

今年は10月になっても汗ばむ程の陽気となる日がございます。
内科病棟では、秋の企画レクリエーションとして、通常レクリエーション時間帯にご入院中の患者様方を当院の屋上にご案内し、天高く馬肥ゆるこの季節ならではの爽やかな空気を感じていただいております。
丁度当院が周辺よりも高い位置にあることから、屋上に出て目に飛び込む空の広さに驚かれる患者様も。「気持ちいいね！」と笑顔が溢れます。
屋上の鉢植えには、キンモクセイやコスモス等秋の草花も美しく咲き誇り、香りを楽しまれる女性患者様もいらっしゃいました。お散歩の後にはレクワーカーがアコーディオンにて青空ミニコンサートを行い『パラのタンゴ』等、季節の曲を演奏しますと患者様方からも拍手が沸き起こりました。
今後も当院にてお過ごしの皆様にとって、少しでも季節の移ろいをお楽しみいただけますよう、レクリエーションを企画いたします。



これからの活動予定

12月7日(土)・14日(土)	病棟毎に 患者様お誕生会
12月6日(金)・10日(火)・16日(月)・19日(木)・23日(月)	病棟毎に クリスマス会(グループレクリエーション)
12月13日(金)・20日(金)・24日(火)	病棟毎に サンタがお部屋にやってくる(病室巡回)
12月17日(火)・18日(水)・27日(金)	病棟毎に 内科病棟 カレンダー作り

★お誕生会・各イベント
⇒開始時間・会場等、詳しくは院内掲示を御覧ください。

感染予防対策のため、予定を急遽
変更させていただく可能性があります。



秋を楽しむ

内科病棟では、11月の通常グループレクリエーション時間帯にて、特別企画のレクリエーション(テーマ:秋を楽しむ)を実施。運動の秋、実りの秋、音楽の秋、芸術の秋…この季節に思い浮かべる様々なものを、耳や目や身体等、全身で感じていただきたい、と企画をいたしました。
まず始めに、秋の様々な木の実をご紹介します。今回の企画に合わせ、6歳と4歳の小さなボランティアの方が集めて寄贈くださった『ドングリ』や『とちの実』『松ぼっくり』等を患者様にご覧いただきました。ご紹介しますと皆様思わずといったように「懐かしいわね！」と笑顔に。更に木の実をペットボトルに入れてマラカスのような楽器にしたものを使用し、『リンゴの唄』等の曲に合わせてリズム体操も行いました(写真右上)。同じく寄贈いただいた世界の名画集より、『モナ・リザ』『牛乳を注ぐ女』等の絵画写真をご鑑賞いただきますと「昔、旅行で実物を見に行きました。」等素敵な思い出をお教える方も。(写真右中)。続いてレクワーカーが絵画を元にして作られた『展覧会の絵』という組曲から『プロムナード』『キエフの大門』と、トワ・エ・モアの『誰もいない海』をピアノにて生演奏すると、目を閉じ聞き入られた後拍手をくださる患者様もいらっしゃいました(写真右下)。その他に、秋が旬の木の実のクイズやスポーツのシルエットクイズ、『里の秋』や『紅葉』といった季節の曲の歌唱等も行い、どの会場でも大変賑やかにお楽しみいただくことができました。
この度、たくさんの方のご協力により、患者様方にとっても馴染み深く、そして鮮明な『秋』を感じていただけましたこと、大変嬉しい思いです。11月中は引き続き特別企画を実施すると共に、個別レクリエーションにて各患者様方のベッドでも木の実や絵画の写真集のご紹介を行って参ります。



ボランティア担当より

レクワーカーがレクリエーションを通して患者様方とお話させていただく中、秋らしい晴天の日には以前楽しんでいたご趣味やご活動等を思い出される方も多くご様子。「この時期は色々な地方のお祭りに参加して踊っていたのよ。」と腕を少し動かしながらお話される方や、「生け花をやったから、庭の花を切って活けていたわ。お花が大好きなの。」とお好みのお花をお教える女性患者様もいらっしゃいます。時には当院にてコロナ禍以前に定期開催していたボランティア活動も話題に上り、「またアレンジメントもやりたいわね。」「お化粧や爪をキレイにしたいわ。」とのお声もいただいております。多くの患者様のお心に残るご活動は、現在ではレクワーカーがボランティアの皆様にお教えいただいた情報等を用いて日常のレクリエーションやイベントで活動を行い、きらりと輝くようなエッセンスとなっております。また、今回の紙面であれば、折り紙の作品であったり、木の実であったり…院内スタッフだけでは届かぬ細やかな部分にお力添えいただくことで、活動が充実し、患者様方からも大変ご好評をいただいています。そういった中で「情熱を伴って行われた活動がもたらす影響は、様々な形で多くの人々へエネルギーを繋いでいる」ということを強く感じております。今年の敬老のお祝いコンサートでは、長期に亘り皆様にお待ちいただきました生演奏にて開催することができました。この躍進もまた、過去に演奏者として参加くださった方、鑑賞者として参加くださった患者様やご家族様、その皆様の笑顔と雰囲気と共にすごした当院のスタッフ…多くの人が織り成す強い情熱による結果であると感じております。コロナ禍を境とした変化を受け入れながらも、ボランティア活動を通して「豊かな時間を共有したい」という想いは変わらずに燃やし続けられるような環境を作っていきたいと考えております。どうぞ今後ともお力添え賜りますようお願い申し上げます。(山口)

